



申鉉守 (シン・ヒョンス)

弁理士

hssheen@leeinternational.com

T. 82-2-2262-6029

F. 82-2-2279-5020

シン・ヒョンス弁理士は、特許出願から訴訟に至るまでのあらゆる業務を担当しています。著名な国際的先端技術企業を代理し、特許出願、OA対応、拒絶決定不服審判、特許登録などの業務を成功裏に行いました。また、特許審判院及び特許法院に提起された多数の無効審判事件で勝訴しました。

シン・ヒョンス弁理士は2004年から2019年までLee International IP & Lawに勤務した後、宋&申特許法律事務所の代表弁理士として、様々な電子技術分野の特許権利化に関する専門性と経験を積み、2022年に再び当事務所に復帰しました。

シン・ヒョンス弁理士は韓国の特許業務に関して寄稿文を作成し、その内容はアジア経済について論じる著名誌「The Daily, NNA 03320」号に掲載されています。2012年には韓国と日本の弁理士会が共同主催したセミナーで「韓国特許法改正動向」について発表しました。

シン・ヒョンス弁理士は2001年にソウル大学電気工学科を卒業し、2010~2011年慶応大学国際センターで日本語研修課程を履修しました。

英語及び日本語を流暢に駆使し、2019年には日本特許庁とJETROが東京で開催したセミナーで「韓国の特許審査・審判の最新動向及び方向性」をテーマに発表しました。

Practice Area

- 電子、コンピュータ、半導体、半導体製造機器、通信関連の出願、審判、訴訟、鑑定

Experience

- 宋 & 申特許法律事務所 (2019~2022)
- Lee International IP & Law (2004~2019, 2022~現在)

Education

- ソウル大学電気工学科 (学士, 2001)
- 慶応義塾大学国際センター (2010~2011)

Qualifications

- 弁理士 - 大韓民国 (2003)

Membership

- 大韓弁理士会 (KPAA)
- アジア弁理士会 (APAA)

Publications / Presentations

- 「韓国特許法改正動向」韓・日弁理士会協同セミナー (2012, ソウル)
- 「侵害訴訟で特許が無効？」(The Daily, NNA 第03320号, 2012)
- 「韓国の特許審査・審判の最新動向及び方向性」(2019, 日本特許庁・JETRO主催セミナー, 東京)

Etc

- 言語 : 韓国語、日本語、英語

Trusted Partner for Your Global IP Needs

